

# 簡単にできる、園芸用土の再生法

古くなった土も、少しの手間で有効に再生利用できます。  
植物と同じく、土も貴重な自然の恵みです。大切に利用しましょう。

## 1 残さ(葉、根、茎)を取り除きます

用土をビニールシート上に広げ、残さを取り除きます。



※残さは乾燥させてから細かく刻み、容器の底に入れ、土の改良材とします。ただし、病気になったもの、虫の付いたものは使用せず、土をよく払った上で必ず「一般ごみ」として捨ててください。

## 2 用土をよく湿らせ袋に入れます

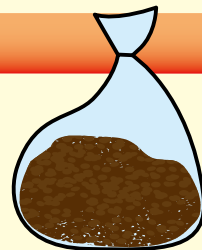
用土は、手で握ると塊ができる位に、よく湿らせてからビニール袋に入れます。

用土が乾いていると熱が全体に伝わらないので注意します。



## 3 袋の口を締めます

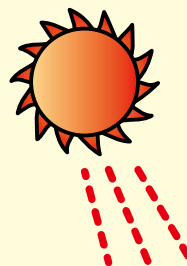
ビニール袋は空気や用土がこぼれないように口をしっかり締めます。



## 4 用土を日に当てます

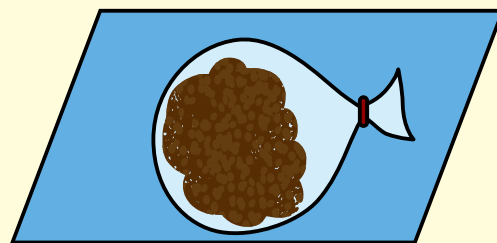
ビニール袋をなるべく平たく伸ばし、日光の当たる場所に置き、太陽の熱と水蒸気により殺虫、殺菌をします。

夏なら10日～15日、冬なら1ヶ月程度が目安です。



※途中でビニール袋を裏返すと効果的です。

※袋は黒色の方が、また、コンクリートの上に置いた方がより効果的です。



## 5 必要なものを補います

殺虫、殺菌後の用土には、植物の育成に必要な微生物などもなくなっています。用土の状態に合わせ、土壌再生用の微生物材や腐葉土を入れます。



指導：川口市立グリーンセンター 緑の相談員 村田矩夫先生

※川口市立グリーンセンターの緑の相談所では、園芸全般についてのご相談も受け付けております。  
詳しくは、<http://greencenter.1110city.com/> をご覧になるか、お電話(048-281-2319)でお問い合わせください。